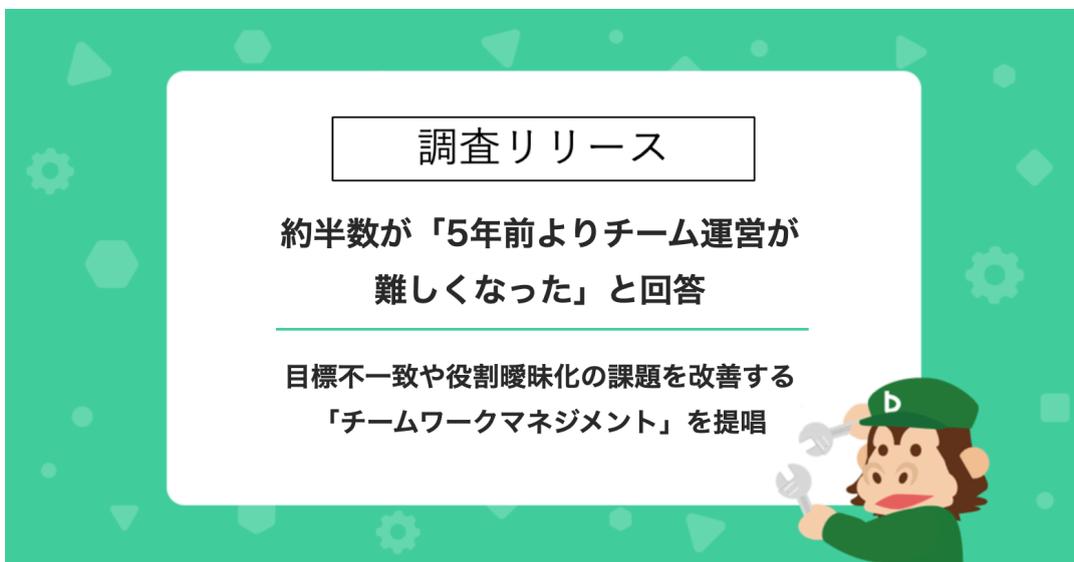


【調査リリース】約半数が「5年前よりチーム運営が難しくなった」と回答

目標不一致や役割曖昧化の課題を改善する「チームワークマネジメント」を提唱

株式会社ヌーラボ(本社:福岡県福岡市、以下ヌーラボ)は、全国のビジネスパーソン1,200人を対象に、「現代のチームが抱える課題と、成果を上げるために重視すべきこと」について、調査しました。



■ 主な調査結果

- 約半数(43.8%)が、「5年前と比べてチームワークを醸成して仕事をするのが難しくなった」と回答。
- チームワークが難しくなった理由として、価値観の多様化(54.2%)、対面で会わない人との業務増加(34.8%)、多様なスキルを持つメンバーとの協働増加(30.0%)が挙げられる
- 回答者の約6割(56.8%)が「5年前と比べて期待されるスキルが変化している」と感じている。
- 新たに求められるスキルとして、1位は「複数のメンバーと仕事をするコミュニケーション力」(62.0%)、続いて「チームで成果を上げる力」(60.1%)、「非定型的な業務・プロジェクト型業務への柔軟な対応」(59.5%)。
- チーム運営について、「共通の目標や方向性をすり合わせること」(26.3%)や「役割分担の不明確さ」(23.3%)が主要な課題として挙げられる。

■ 調査概要

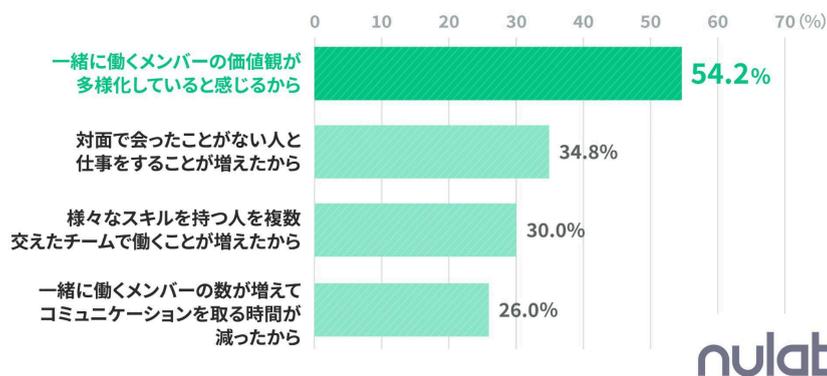
- 調査対象: 社会人歴6年目以上で、普段の業務で社内・社外と共同でプロジェクトを進めることがあるビジネスパーソン
- 調査手法: インターネットリサーチ
- 調査期間: 2024年8月29日(木)～9月2日(月)
- 有効回答数: 【本調査】1,200サンプル
- 調査実施機関: 株式会社ネオマーケティング

■ 約半数が「5年前に比べ、チーム運営が難しくなった」と回答

現代のビジネス環境では、異なる部署や社外メンバーが関わる業務が増加し、プロジェクトの複雑さがこれまでにないレベルに達しています。本調査では、回答者の約半数(43.8%)が「5年前と比べてチームワークを醸成して仕事をすることが難しくなった」と感じていることが明らかになりました。

チームワークが難しくなった理由として、「一緒に働くメンバーの価値観が多様化している」(54.2%)、続いて「対面で会ったことがない人と業務が増えた」(34.8%)、「多様なスキルを持つメンバーと働く機会が増加した」(30.0%)といった要因が、影響しています。このような環境下で、どのようにして効率的かつ効果的なチーム運営を実現するかが、ビジネス成功の鍵を握っています。

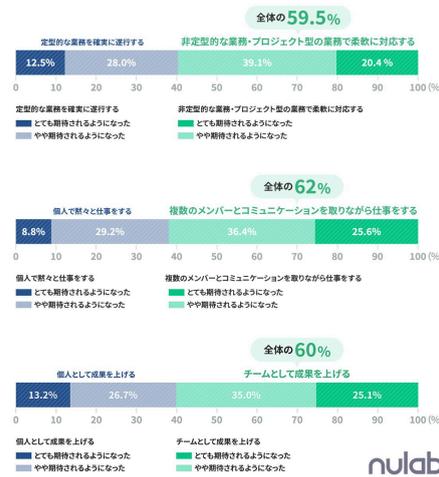
Q. 5年前と比べてチームワークを醸成して仕事をすることが難しくなったと感じようになった理由を教えてください



■ 約6割が「求められるスキルの変化」を実感！いま求められる能力は「コミュニケーション力」「チームでの成果」「柔軟性」

調査によると、約6割(56.8%)の回答者が「5年前と比べて仕事において自分に期待されるスキルが変化した」と感じています。特に現代のビジネス環境で求められているスキルとして、第1位が「複数のメンバーとコミュニケーションを取りながら仕事をする」能力(62.0%)、第2位が「チームとして成果を上げる」能力(60.1%)、第3位が「非定型的な業務・プロジェクト型業務への柔軟な対応」(59.5%)であることが明らかになりました。

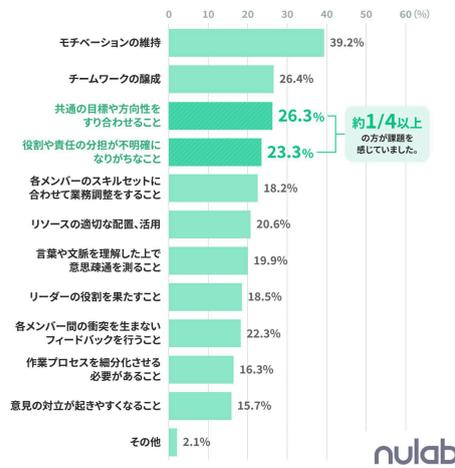
これらの結果は、個人の成果以上にチーム全体のパフォーマンスが重要視される時代へとシフトしている実態を示しています。チームワークを強化し、非定型的な業務に柔軟に対応するためのマネジメントが、これまで以上に必要とされていることが浮き彫りになっています。



■「目標の不一致」と「役割の曖昧さ」が、チーム運営の元凶

「チームで働く上で課題に感じていること」に関する質問では、「共通の目標や方向性をすり合わせること」(26.3%)や「役割や責任の分担が不明確になりがちなこと」(23.3%)が主要な課題として挙げられました。これらの問題は、ストレスの源となるだけでなく、回答の多かった「モチベーションの維持」(39.2%)や「チームワークの醸成」(26.4%)といった課題にも影響を与えていることが読み取れます。

多様なスキルを持つメンバーが集まるチームでは、方向性の不一致や役割分担の曖昧さが連携を阻む大きな障害となるため、業務内容の見える化や、メンバー間でのオープンなコミュニケーションの促進が不可欠です。



■多様化する職場環境でチームのパフォーマンスを最大化する方法とは？

現在、勤務形態や雇用形態が多様化し、メンバー全員が同じ環境にいるとは限らない状況が一般的になっています。このような環境であっても、いかに業務効率を高め、チーム全体のパフォーマンスを最大化するかが、組織の成否を左右する重要な課題となっています。

こうした課題を解決するために、ヌーラボでは、組織や所属の枠を越えて集まった人々がワンチームとなり、1つの目標に向かって協力し、効率的かつ効果的に業務を推進するためのプロセスや手法を「チームワークマネジメント」と定義しています。

そして、部門や役職にとらわれないチームワークマネジメントの取り組みにより、成果を上げていくことが、変化の激しいビジネス環境下での成功と組織の競争力向上につながると考えています。

※本調査の詳細な結果は、Backlogブログ『[6割が「チームとしての成果を求められるようになった」と回答～多様なメンバーで成果を最大化するチームワークマネジメントが重要に～](#)』をご覧ください。

■ 本調査結果を使用される際のお願い

- 本調査結果を使用される際は、【株式会社ヌーラボ調べ】とご記載ください。
- ご使用の場合は、元のデータや画像を改変しないようお願いいたします。

■ プロジェクト・タスク管理ツール「Backlog」について



・Backlog サービスページ: <https://backlog.com>

「Backlog」は、3つの強みを有するプロジェクト管理・タスク管理ツールです。

1. 業界・業種を問わずお使いいただける親しみやすいデザインと操作性
2. タスク管理のみならず、Wiki、Git、ガントチャートなどの豊富な機能がオールインワン
3. 人数無制限のため、価格を気にせずチームメンバーを招待可能

2005年のリリース以降、多くのチームのコラボレーション促進に貢献してきました。現在、クラウド版 / オンプレミス版の2種類を提供し、世界で140万人以上のユーザーにお使いいただいています。

導入事例は「[導入事例「Backlog」の記事一覧](#)」からご確認ください。

■ ヌーラボが提供するサービスについて



ヌーラボは、プロジェクト管理ツール「Backlog」、オンライン作図ツール「Cacoo」、組織の情報セキュリティ・ガバナンスを高めるための「Nulab Pass」を開発・提供しています。

- ・プロジェクト管理ツール「Backlog」:<https://backlog.com>
- ・オンライン作図ツール「Cacoo」:<https://cacoo.com>
- ・組織の情報セキュリティ・ガバナンスを高める「Nulab Pass」:<https://nulab.com/ja/nulabpass>

■ 株式会社ヌーラボについて



本社	福岡県福岡市中央区大名一丁目8-6 HCC BLD.
東京事務所	東京都千代田区神田三崎町三丁目6-14 THE GATE 水道橋 7F
京都事務所	京都府京都市下京区突抜二丁目360
代表者	橋本正徳
ウェブサイト	https://nulab.com https://nulab.com/ja/about/careers/ (採用ページ)

■ この件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社ヌーラボ 広報担当 前田

TEL: 050-3616-1015(担当直通) E-mail: pr@nulab.com

※ 本プレスリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。